

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52326	社会的養護Ⅱ The Nature of Social Care	谷村和秀・小笠原 寛			2	選択	2年前期

科目の概要

保育士、福祉施設職員、一社会人として社会的養護に対する良き理解者となるために学ぶ教科とする。様々な事情により保護、養育の必要な子どもと支援が必要な家庭の現状把握と社会的養護に対する理解を深めていく。児童福祉施設等の現状と課題の状況把握、養護問題、養護体系、権利擁護、保育士の役割について等、事例を挙げながら解り易く説明する。実務経験から、保育士に求められる資質、倫理観を踏まえた支援知識、技術を指導する。社会的養護Ⅱはディプロマ・ポリシー①～④、⑥に相当する。これらを身につけるために行う。

学修内容	到達目標
① 社会的養護における子どもの日常生活支援、治療的支援、自立支援について学び、支援について考察することができる。 ② 施設養護の生活特性及び実際、家庭養護の生活特性及び実際について知る。 ③ 保育の専門性と社会的養護に関わる知識、コミココミュニケーションを図るための意図的な関わりかた等の技術を習得する。 ④ 個別の支援計画の作成とアセスメントの考察、記録及び自己評価について学び実施する。 ⑤ 社会的養護における家庭支援、社会的養護の課題と展望について理解できることを目的とする。	① 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容についての具体的な事柄を述べるができる。(D.P.②③) ② 施設養護及び家庭養護の実際と課題の状況把握し説明することができる。(D.P.②③④) ③ 社会的養護における保育者の援助の方法、技術内容についての理解ができ実施することができる。(D.P.②③④) ④ 社会的養護に関わる計画、記録、自己評価の実際について記載を行うことができる。(D.P.②③④⑥) ⑤ 社会的養護における子ども虐待防止と家庭支援についての理解ができ配慮することができる。(D.P.①②③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	ア、教科書、文献、参考資料を使って、積極的に課題に取り組むことができる イ、自己分析により自己を理解したうえで苦手意識を持たず集中しやり遂げ、自信を持って取り組むことができる
	働きかけ力	ア、仲間と協力し進める中で意見を聞きながら自己の主張を納得させる力を持ちまとめていくことができる イ、自分から積極的に発信することができる
	実行力	ア、積み重ねていく知識、技術に喜びを持ち自信に繋げ取り組むことができる イ、社会的養護の支援についての理解を授業ごとにしっかり自己に取り込むことができる ウ、途中で投げ出さず、目標到達に向けてやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	ア、新しい情報、データを見極め、整理することができる イ、現状把握、課題、展望等において正しく認識することができる
	計画力	ア、計画に沿って見直しや調整をしながら進め、期限内に完成することができる
	創造力	ア、自分と他者の考えをまとめ、課題に取り組み、問題解決に向けて計画案を作成することができる イ、様々な考えを取り入れ評価、まとめをすることができる
チームで働く力	発信力	ア、参考資料、事例などを用い誰にでも分かり易く伝える方法を工夫し実践することができる イ、聞き手が興味を持てるように、発表の仕方を工夫する。
	傾聴力	ア、自分の思いを伝えながら、グループワークのメンバーの意見、考えを確認しながらまとめることができる イ、他者の意見を受け止め、丁寧に聞き入れることができる
	柔軟性	ア、討議時、いろいろな意見を認め、考えを受け入れ柔軟に対応することができる
	状況把握力	ア、自己の言動、行動に責任を持ち目標を達成するため全力で臨むことができる イ、自己の役割を果たし、良い結果が得られるよう最善を尽くすことができる
	規律性	ア、遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる イ、欠席した場合は欠席届けを提出し、フォローレポートを行う ウ、遅刻の場合、理由を伝える
	ストレスコントロール力	ア、結果がでない、間違え、うまく進まない等思い通りにならない時、早く気持ちを切り替えて前に進むことができる

テキスト及び参考文献

テキスト名：「みらい×子どもの福祉ブックス 社会的養護Ⅱ」 編者：堀場純矢 発行所：(株)みらい
 価格：2,400円+税
 参考文献：「保育実践と社会的養護Ⅰ：井村圭壯・相澤謙治 発行所：勁草書 価格：2200円
 教材プリント：国、地方公共団体・厚生労働省・全国保育士会等発行資料：児童福祉法改正・全国保育士会
 倫理綱領・社会的養育の推進に向けて等
 保育教材：支援計画書・記録書・コミュニケーション、壁面製作、施設行事に使用する資料及び素材

他科目との関連、資格との関連

他の科目との関連：社会的養護Ⅰ、社会福祉、施設実習Ⅰ・Ⅱ、子どもと家庭福祉
 資格との関係：保育士（保育士資格必須科目）

学修上の助言 **受講生とのルール**

<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加できる様、意見・質問を常に受け入れ解決しながら進められるよう疑問等を予習・復習より準備しておく 講義内容は各自のスタイルで分かり易く書き込んでいく 教科書、資料、ノートには日付を入れ整理しておく プリント、教材は自己でテーマごとに分かりやすくまとめておく 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的養護Ⅱのテキストに目を通し、各回の授業に備えておく 社会的養護に関する記事、ニュース、コラムなどに関心を向け、まとめておく グループワークでの自分の役割を果たすことができるよう日ごろから積極的にクラスメイトとコミュニケーションを図る 提出物は完成させ期日内に提出する クラスルームの連絡事項を確認し持ち物、宿題等把握しておく
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	・社会的養護の基本である「子どもの養護」における保育士の役割、今日の養護問題、児童養護施設の現状と課題について内容を理解しているかを評価する ①授業で学んだそれぞれの項目の要点をつかんでいるか確認する ②提起された問題点・課題について正しく捉え、考察することができるか確認する ③社会的養護の内容の各ポイントを自分のことばで説明することができるか確認する
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
平常評価	レポート	40	①	✓	・Googleformによる、リアクションペーパー（10点） ・課題「これからの日本の社会的養護の在り方について自分の考えを述べなさい」30点 ①授業での内容ポイントや資料を参考にしながら自身で調べ、自分の考えをまとめることができるか評価する ②800文字程度で述べたい内容をうまく、まとめることができるか確認する	
			②	✓		
			③			
			④			
			⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自分の役割を果たし課題、問題解決取り組み、自身の考えをまとめ、自信をもって積極的に参加することができる （実行力）目標達成に向けて課題、計画や問題解決に対し最後までしっかりやり遂げることができる （課題発見力）各課題に対し問題を明確にし実現に向けて考察、分析が正しくできる （創造力）考え、資料、素材等広域より取り込み、斬新な取り組みができる （発信力）自己からの積極的な発信ができ、他者に正しく伝えることができる （傾聴力）他者の意見を丁寧に聞き受け入れ、人が話しやすい環境をつくること （規律性）欠席、遅刻などせず授業が円滑に進むよう規則やルール、マナー等守り、人に迷惑をかけることがない	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・達成目標の内容及び評価の重視する観点内容の理解に能力が達成しており、筆記試験、小テスト、レポート、グループワーク及び発表、授業での取り組み姿勢、態度において優秀な評価であること ・筆記試験総合評価(90点以上をS) (80点以上90点未満をA) とする。	・達成目標の内容及び評価の重視する観点内容が概ね理解できており、筆記試験、小テスト、レポート、グループワーク及び発表、授業での取り組み姿勢、態度において評価(良)であること ・筆記試験総合評価(70点以上80点未満をB) (60点以上70点未満をC) とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・シラバスを基に単位を取得するにあたって必要な情報全般を示す社会的養護の定義、理念、基本原則について確認し、今日の養護問題、養護体系、主な児童福祉施設の現状と課題について学ぶ	・講義 ・ディスカッション(社会的養護の定義、理念、原則とは)(谷村)	現在の社会的養護の定義、基本的な方向性、理念と原理を復習し、今日の養護問題について説明できる	(予習) 社会的養護の定義、理念、基本的原則についてまとめる (復習) 今日の養護問題とは何かまとめる	180	主体性 傾聴力
2	主な児童福祉施設の現状と課題について学ぶ ・養護問題における保育士の役割とは何か理解する ・児童福祉施設の類型、それぞれの施設の特性と現状課題を知る	・講義 ・DVD視聴(養護施設の子どもたち)(小笠原)	主な児童福祉施設の現状と課題をまとめることができ、保育士の役割について説明ができる	(復習) 児童福祉施設における保育士の役割と現状課題をまとめる (予習) 家庭養護とは何か調べる	180	主体性 傾聴力
3	家庭養護の現状と課題について学ぶ ・里親制度、小規模住居型児童養護事業(ファミリーホーム)の概要と特性について知る ・「権利養護」の理念について知る	・講義 ・グループワーク及び発表のフィードバック(谷村)	・里親制度と小規模住居型児童養護事業の概要と現状課題を説明することができる ・「権利擁護」に繋がる具体的な内容を把握できている	(復習) 家庭養護の現状と課題をまとめる (予習) 施設養護のプロセスにおける問題提起されている事例を読み、内容を把握する	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 規律性
4	施設養護のプロセスについて学ぶ ・施設養護のプロセスの現状とその問題点について事例検討する ・施設養護のプロセスに求められる視点について把握する	・講義 ・ディスカッション(施設養護のプロセスにおいて問題提起事例の検討)(小笠原)	施設養護のプロセスに求められる視点について説明ができる	(復習) 施設養護のプロセスの視点についてまとめる (予習) 施設養護の展開内容について教科書を読み内容を把握する	180	主体性 課題発見力 傾聴力
5	施設養護のプロセスの展開内容とその留意点について学ぶ ・入所後の支援・施設内ケア・退所前、後の支援について知る	・講義 ・グループワーク及び発表のフィードバック(小笠原)	・施設養護の現状問題とは何か説明できる ・児童福祉施設内での保育士の具体的な支援内容を把握している	(復習) ワークシートで確認し、施設ごとの特徴を理解する (予習) 教科書から養護施設で働く保育士の生活支援内容を把握する	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
6	保育士の基本的な社会的養護に対する支援内容を具体的に学ぶ ・支援内容(日常生活支援、学習指導、余暇活動、家庭調整)を具体的に知る	・講義 ・デイリープランの計画作成(小笠原)	社会的養護施設における基本的な日常支援内容を把握できている、具体的にまとめることができる。	(復習) 施設養護のデイリープランの内容を確認する (予習) 教科書から障がい児施設の概要を調べる	180	主体性 実行力 傾聴力
7	障がい児入所施設における基本的な支援について学ぶ ・障がいのある人とノーマライゼーションについて知る	・講義 ・DVD視聴(障がい児施設で過ごす子どもたち)(谷村)	ノーマライゼーションの定義を理解し生活や権利などが保障された環境づくりに対する自己の考えや視点をまとめ他者に伝えることができる。	(復習) 保育士の基本的な社会的養護支援とは何かまとめる (予習) 障がい児の生活プランについて確認する	180	主体性 傾聴力
8	障がいを持っている子どもの生活の特徴、大切なポイントなどについて学ぶ ・衣、食、住、保健-衛生、余暇活動、養育支援等	・講義 ・生活プログラム作成(谷村)	障害児入所施設での日常生活支援内容について具体的にまとめられることができ、生活プログラムを作成することができる	(復習) ノーマライゼーションとはどんな内容であるか説明する (予習) 「養護施設に入所する子どものこころの中は」について考える	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	施設養護における、こころの支援について学ぶ ・安全と安心の保証・個別化・愛着関係の形成への支援・施設生活と子ども等の観点から考察する	・講義 ・グループワーク及び発表のフィードバック(小笠原)	子どもの施設生活における、こころの混乱に対する具体的な援助方法が理解できている	(復習) 障がいを持っている子どもの生活プログラムの要点をまとめる (予習) コミュニケーションを図る効果について自身の考えをまとめる	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
10	子どもとのコミュニケーションのはかり方と心の支援について学ぶ ・良い関係を築くためのコミュニケーションのはかり方、虐待を受けた子どもへの対応について知る	・講義 ・ロールプレイングを行う	・コミュニケーションを図るための意図的な関わり方の内容を理解でき、実践することができる ・虐待を受けた子どもへのかかわり方の要点を知ることができる。	(復習) 「養護施設」における心の支援とは何かまとめる (予習) 教科書にて学習範囲をよく読み、親子支援の重要性とは何か考察する	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
11	親子関係の支援について学ぶ ・親子関係の支援の姿勢、親子関係の調整における保育士の役割、親子関係の支援にあたっての重要ポイントを知る	・講義 ・グループワーク及び発表のフィードバック(谷村)	今日的な親子関係の支援課題について知ることができ、チームアプローチの内容を理解することができる	(復習) 虐待を受けた子どもの内容と対応についてまとめる (予習) 地域・学校と児童養護施設の連携の必要性を把握する	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
12	地域・学校との関係づくり・整備の支援について学ぶ ・地域社会や学校との関係づくりが必要な場面、児童福祉施設と学校との連携について把握する	・講義 ・グループワーク及び発表のフィードバック(谷村)	児童養護施設等の社会的養護施設が地域の子育て支援の役割を果たさなければならない理由を説明できる	(復習) 親子支援にあたっての保育士の役割をまとめる (予習) 自立支援計画作成のポイントとは何か確認する	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
13	自己実現・自立への支援について学ぶ ・自立とは何か、自立の変化と概念、社会的養護における自立に向けた支援の内容等や自立支援計画の作成とポイントを把握する	・講義 ・自立支援計画作成(谷村)	精神的、生活、経済的それぞれの自立に向けた支援方法を理解する事ができ、自立支援計画の作成とポイントを把握することができる	(復習) 児童福祉施設と学校との連携内容とは何かまとめる (予習) 児童福祉施設の運営管理について教科書を参考にまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
14	児童福祉施設の運営管理について学ぶ ・施設の運営及び組織形態、子どもたちを支援する職員とチームワーク、施設運営と人材育成について知る	・講義 ・ワークシート作成(児童福祉施設の運営管理について)(谷村)	施設の運営と組織形態について理解し、人事運営管理と人材育成の今日的な課題について説明できる	(復習) 社会的養護における自立に向けた支援内容とは何かまとめる (予習) 児童福祉施設における保育士の資質とは何か考える	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
15	国連子どもの権利委員会勧告を基に日本の社会的養護の在り方について学ぶ ・社会的養護に携わる者として、保育士の専門性、倫理観についてまとめる ・これからの社会的養護の推進に向けて日本の在り方について、レポートに自身の考えを述べる(800字10点)	・講義 ・レポート作成(谷村)	・レポート課題において具体的に自分自身の考えをまとめることができる ・社会的養護に携わる保育士としての役割を具体的に述べることができる	(復習) 「社会的養護Ⅱ」の授業を通して、社会的養護への理解と保育士としての倫理観をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力